

「さっぽろ読書・図書館プラン 2022(案)」
に対するご意見の概要と札幌市の考え方について

令和 4 年（2022 年）5 月

札幌市

目 次

1	意見募集の概要	1
2	パブリックコメント（注）の内訳	2
3	キッズコメント（注）の内訳	3
4	パブリックコメント・キッズコメントに基づく当初案からの修正点	5
5	パブリックコメントに寄せられたご意見と札幌市の考え方	6
6	キッズコメントに寄せられた主なご意見と札幌市の考え方	10

注：パブリックコメント：一般向け意見募集

キッズコメント：小学生及び中学生向け意見募集

1 意見募集の概要

(1) 意見募集の趣旨

札幌市では、令和4年度（2022年度）からの5年間に、札幌市民の読書活動や図書館の運営をどのように進めていくのかということについてまとめた「さっぽろ読書・図書館プラン2022」をつくっています。

札幌市における読書活動や図書館の運営の更なる充実・発展のため、この案について、市民の皆さまからのご意見を募集しました。

(2) 意見募集期間

令和4年（2022年）3月9日（水）から4月7日（木）（必着）まで

(3) 意見提出方法

郵送、持参、ファクス、電子メール、ホームページの入力フォームからの送信

(4) 資料の配布場所

ア パブリックコメント（一般用）資料

- ・教育委員会中央図書館運営企画課
- ・札幌市中央図書館、えほん図書館、図書・情報館、地区図書館
- ・市立学校
- ・札幌市役所2階 市政刊行物コーナー
- ・各区役所総務企画課広聴係
- ・各まちづくりセンター など

※ 別途、市立小・中・高等学校に配布

イ キッズコメント（小学生・中学生用）資料

- ・中央図書館、地区図書館等の各図書施設
- ・市役所2階市政刊行物コーナー
- ・各区役所総務企画課広聴係
- ・各児童会館

※ 別途、市立小・中学校に配布

(5) 意見募集の周知方法

ア 札幌市公式ホームページに掲載

イ 報道機関への情報提供

2 パブリックコメントの内訳

(1) 意見提出者数・件数

ア 意見提出者数：9人

イ 意見数：21件

(2) 意見提出者の提出方法の内訳

区分	郵送	持参	ファクス	電子メール	ホームページ	その他	合計
提出者数	0人	3人	2人	0人	4人	0人	9人
意見数	0件	6件	5件	0件	10件	0件	21件

(3) 意見内容の内訳（基本方針に沿って分類）

分類	件数(件)	構成比(%)
基本方針1 市民の読書環境の充実と情報活用の支援	10	48
(1) 市民の誰もが文字・活字文化に親しむ基盤の整備や読書を楽しむ機会の充実を図る	4	19
(2) 来館が難しい方や障がいのある方の読書環境の充実を図る	3	14
(3) 市民による情報の収集や活用を支援する	1	5
(4) 読書を支える多様な活動を支援する	2	10
基本方針2 子どもの読書環境の充実と読書活動の支援	7	33
(1) あらゆる機会・場所で子どもが読書に親しむ環境をつくる	4	19
(2) 市民が子どもの読書推進の意識を共有する	0	0
(3) 発達段階ごとに効果的な読書支援に取り組む	3	14
(4) 子どもの興味や関心に応じた活動を支援して物事を探求する姿勢を養う	0	0
基本方針3 全ての市民の学びと情報の拠点としての環境整備	0	0
(1) 全ての市民の課題解決を支援する	0	0
(2) 身近な地域の学びの場としての機能を強化する	0	0
(3) 地域の生涯学習と情報の拠点としての機能強化に向けて検討を進める	0	0
基本方針4 持続可能な図書館サービスを見据えた図書館運営	4	19
(1) 将来にわたって持続可能な図書館とするための取組を進める	1	5
(2) 社会経済情勢や市民ニーズの変化に応じた図書館サービスの検討を進める	2	10
(3) 民間活力の導入を含む図書館の効果的・効率的な管理運営手法や施設配置を検討	1	5
合計	21	100

※構成比の値は四捨五入しているため、合計値が100.0%にならない場合があります。

3 キッズコメントの内訳

(1) 意見提出者数・件数

ア 意見提出者数：22人

イ 意見数：34件

(2) 意見提出者の年代別内訳

学年	小学生						中学生			不明	合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年		
提出者数	1人	1人	0人	0人	0人	0人	11人	8人	1人	0人	22人
意見数	1件	1件	0件	0件	0件	0件	19件	11件	2件	0件	34件

(3) 意見提出者の提出方法の内訳

区分	郵送	持参	ファクス	電子メール	ホームページ	その他	合計
提出者数	22人	0人	0人	0人	0人	0人	22人
意見数	34件	0件	0件	0件	0件	0件	34件

(4) 意見内容の内訳（計画案の構成に沿って分類）

分 類	件数(件)	構成比 (%)
基本方針1 市民の読書環境の充実と情報活用の支援	22	65
(1) 市民の誰もが文字・活字文化に親しむ基盤の整備や読書を楽しむ機会の充実を図る	18	53
(2) 来館が難しい方や障がいのある方の読書環境の充実を図る	3	9
(3) 市民による情報の収集や活用を支援する	0	0
(4) 読書を支える多様な活動を支援する	1	3
基本方針2 子どもの読書環境の充実と読書活動の支援	8	24
(1) あらゆる機会・場所で子どもが読書に親しむ環境をつくる	3	9
(2) 市民が子どもの読書推進の意識を共有する	3	9
(3) 発達段階ごとに効果的な読書支援に取り組む	2	6
(4) 子どもの興味や関心に応じた活動を支援して物事を探求する姿勢を養う	0	0
基本方針3 全ての市民の学びと情報の拠点としての環境整備	3	9
(1) 全ての市民の課題解決を支援する	2	6
(2) 身近な地域の学びの場としての機能を強化する	1	3
(3) 地域の生涯学習と情報の拠点としての機能強化に向けて検討を進める	0	0
基本方針4 持続可能な図書館サービスを見据えた図書館運営	1	3
(1) 将来にわたって持続可能な図書館とするための取組を進める	1	3
(2) 社会経済情勢や市民ニーズの変化に応じた図書館サービスの検討を進める	0	0
(3) 民間活力の導入を含む図書館の効果的・効率的な管理運営手法や施設配置を検討	0	0
合 計	34	100

※構成比の値は四捨五入しているため、合計値が100.0%にならない場合があります。

4 パブリックコメント・キッズコメントに基づく当初案からの修正点

皆さまのご意見をもとに、当初案から2項目の修正、追記などを行いました。

No.	修正箇所のページと項目	意見の概要	
		修正前	修正後
1	p31 第6章 第3節 基本方針1-(1) 施策No.3 内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館がどこにあるか分からない人もいるので、宣伝ポスターを配布するなどした方が良い。(キッズコメント No.5) ○ インターネットによる予約や検索システムがあることを知ってもらえるようにインターネットでも図書館とつながれることを知ってもらうキャンペーンをしたらどうか。(キッズコメント No.17) ○ どんな本が入荷したかなど SNS で発信すれば、興味を持ってくれる人が増えるのではないか。(キッズコメント No.18) 	<p>今後も、図書館を利用されたことのない方にも図書館に関心を持っていただけるように、<u>情報発信に努めるとともに、体験型のイベントを実施したり、企業との連携を検討するなど市民に役立つ図書館として、読書に触れる機会を提供していきます。</u></p>
2	p36 第6章 第3節 基本方針2-(2) 施策No.16 内容 具体的事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小さい子にポイントカードなどを作って、借りるたびにスタンプを押し、たまったらお菓子などを配るのはどうか。(キッズコメント No.26) ○ 読書ノート¹⁾の提出場所を増やしてほしい。(キッズコメント No.27) <p>【内容】 図書館では、子どもの読書習慣を身に付けるきっかけづくりや、「図書館デビュー」など、就学前の子どもへの動機づけ、「小中学生向けキャリア教育（進路探究オリエンテーション）」など、子どもが読書に関心を持てるような働きかけを行います。</p> <p>【具体的事業】 ○ 読書習慣を身に付けるきっかけづくり</p>	<p>今後も、図書館を利用されたことのない方にも図書館に関心を持っていただけるように、<u>SNS など様々な方法も活用し、情報発信に努めるとともに、体験型のイベントを実施したり、企業との連携を検討するなど市民に役立つ図書館として、読書に触れる機会を提供していきます。</u></p> <p>【内容】 図書館では、「<u>読書ノート</u>」など、子どもの読書習慣を身に付けるきっかけづくりや、「図書館デビュー」など、就学前の子どもへの動機づけ、「小中学生向けキャリア教育（進路探究オリエンテーション）」など、子どもが読書に関心を持てるような働きかけを行います。</p> <p>【具体的事業】 ○ 読書習慣を身に付けるきっかけづくり <u>(読書ノートの取組の充実)</u></p>

5 パブリックコメントに寄せられたご意見と札幌市の考え方

ご意見の概要と札幌市の考え方は以下のとおりです。これらのご意見については、札幌市民の読書活動や図書館運営に関する施策を検討し、実施する際の参考といたします。なお、趣旨が同じご意見はまとめて掲載しております。

No.	意見の概要	札幌市の考え方
基本方針1 市民の読書環境の充実と情報活用の支援		
(1) 市民の誰もが文字・活字文化に親しむ基盤の整備や読書を楽しむ機会の充実を図る		
1	○ 貸出回数の多い書籍の傷みが気になる。	● 本の修理については、職員が行うほか、技能を有する方にボランティアとしてご協力いただいております。皆さまが手に取りやすい本を提供できるよう努めてまいります。
2	○ ほとんど変化のない棚の本を思い切って入替えしてはどうか。	● 皆さんが様々な本に出合えるよう定期的に配架の見直しを心掛けてまいります。
3	○ 新刊書は複本購入せず、多様な書籍を購入すべき。	● 札幌市の図書館では、限られた予算のなかで多くの種類の本をそろえるため、新刊書は市内で2冊までを目安に購入しておりますが、複本に寄贈本を活用するなどして要望に応えられるよう工夫していきます。
4	○ 新刊をもっと購入して読めるようにしてほしい。	
(2) 来館が難しい方や障がいのある方の読書環境の充実を図る		
5	○ 図書館内の盗難防止装置は、電磁波過敏症の方々や、心臓ペースメーカー装着者のために、月に2～3回は停止すべき。	● いただいたご意見は、図書館施設の利用に困難を抱える方の読書環境整備を進めるにあたり、参考にさせていただきます。
6	○ 拡大写本の利用促進を望む。	● 拡大写本は読書に困難を感じている方にとって有用な資料と認識しております。利用の度合いを計りながら、蔵書の充実と利用促進策について検討してまいります。
7	○ 青い鳥文庫など、ふりがなのついた本を借りられるようにしていただきたい。	● 青い鳥文庫などのふりがなのついた本も貸出を行っております。今後も利用される方の意見を聞きながら、読書環境の充実に取り組んでまいります。
(3) 市民による情報の収集や活用を支援する		
8	○ 札幌国際プラザにおける図書館機能を拡大するため、閲覧・学習スペースの拡充、カウンター司書に外国人スタッフの採用、展示等による楽しめる場所づくりを行ってはどうか。また、外国紹介セミナーのようなものを記録、活用して、外国を紹介する書籍等を作ってはどうか。	● 読書を通じた多文化理解の促進を図るため、関係機関と連携し取組を進めてまいります。

No.	意見の概要	札幌市の考え方
(4) 読書を支える多様な活動を支援する		
9	○ ボランティアの方々にも生活があり、裕福な方ばかりではないので、ボランティアの待遇改善について検討すべき。	● 図書館では、ボランティアの方と話し合い、活動の場を提供し無償であることをご理解の上で活動していただいております。ご意見の趣旨は、今後の取組を進める際に参考とさせていただきます。
10	○ 国内外の有償ボランティアに関する本が極めて少ないように感じる。	● 出版物の書誌データの検索結果においては、有償ボランティアに関係する書籍は数点であるところ、そのうち半数程度のものを札幌市の図書館では所蔵しております。所蔵希望の資料がございましたら、「蔵書リクエスト」にてお知らせいただけましたら、選書の際の参考にさせていただきます。
基本方針2 子どもの読書環境の充実と読書活動の支援		
(1) あらゆる機会・場所で子どもが読書に親しむ環境をつくる		
11	○ 寄託図書を一か所に集めてセンター化してはどうか。また、集めた寄託図書で開架の図書館を作ってはどうか。	● 本市では、子どもたちの学習活動に役立つ図書を複本で揃えており、学校の規模や地理的状况等を考慮した上で、市内36校（令和4年4月現在）の寄託図書館で蔵書しております。 今回いただいた寄託図書に関するご意見も参考にさせていただきながら、子どもたちが寄託図書を朝読書や調べ学習等の時間でより効果的に活用できるよう、取組の充実を図ってまいります。
12	○ 寄託図書のシステムについて、全面更新が必要であるため、学校図書館蔵書データベースと寄託図書のシステムを統合し、一体管理してはどうか。	
13	○ 小学校への学校司書配置を促進していただきたい。	● 中学校への学校司書の配置を受けて、学校図書館の教育課程に与える効果について検証しているところであり、その結果を踏まえて、小学校への学校司書の配置も検討してまいります。図書館ボランティアへの研修等の充実を図り、小学校における学校図書館の機能と役割の向上に努めてまいります。
14	○ 計画中の「○司書教諭に対する研修の充実」のところで、「○司書教諭の確実な人的配置と研修の充実」としていただきたい。	● 本市では、札幌市立学校管理規則に基づき、校長がその学校の司書教諭を命ずることができるよう、学校規模等を踏まえた有資格者の適正な配置に努めているところです。 学校図書館のより一層の活用を促進するために、札幌市教育委員会が主催する「札幌市司書教諭等研修」や各専門研修において、令和3年度から司書教諭のみならず学校司書も受講することができるように変更しました。管理職のマネジメントの下で適切な学

No.	意見の概要	札幌市の考え方
		校図書館運営ができるよう、司書教諭等の研修を今後も継続的に実施してまいります。
(3)発達段階ごとに効果的な読書支援に取り組む		
15	○ 子どもの本について、スカイプによる読み聞かせに対応した本も用意してほしい。	● 中央図書館、えほん図書館でも、絵本の読み聞かせ動画の配信をしており、オンラインを介した読み聞かせに図書館の本を使用するニーズが一定程度あるものと認識しました。いただいたご意見につきましては、選書の際に参考とさせていただきます。
16	○ 読んだ本の数だけでなく、読書の質を高める取組みが必要と思う。	● ご意見のとおり、子どもの成長に応じて読書の質を高めることは大切なことと考えています。読書へのきっかけを生む取組と併せ、発達段階に対応した展示や行事なども行ってまいります。
17	○ 読書に親しむ機会の充実のため、一斉読書の時間をきちんとした形で継続していくよう働きかけてほしい。	● 札幌らしい特色ある学校教育の推進において、【読書】は全ての園・学校が共通して取り組むテーマに設定しており、その中の取組として「朝読書」の実施を推奨しているところです。引き続き、学校図書館の「読書センター」の機能と役割の充実と併せて、各学校において、読書機会の充実が図れるよう努めてまいります。
基本方針4 持続可能な図書館サービスを見据えた図書館運営		
(1) 将来にわたって持続可能な図書館とするための取組を進める		
18	○ 市民からの本の寄贈を呼びかけ、それらの寄贈図書は基本的に受け入れてほしい。	● 札幌市の図書館ではホームページなどで、主に予約が集中するベストセラーや話題の図書、入手が難しい郷土資料についての寄贈を広く呼びかけております。なお、その受け入れにつきましては図書館での所蔵状況、資料の状態などを総合的に判断して決定しております。
(2) 社会経済情勢や市民ニーズの変化に応じた図書館サービスの検討を進める		
19	○ 「学校司書や学校図書館ボランティアに向けた支援の充実」とあるが、図書館の運営においても、ボランティアの活用の検討をすべき。	● 図書館では現在、読み聞かせなどの団体のほかに、本の修理については技能を有する方にボランティアとしてご協力いただいております。ご意見の趣旨も参考にしながら、図書館を支える人の養成と活動の場の提供について、取組を検討してまいります。
20	○ 職員を専従にして、長期的な展望と計画を持って地域に根ざした図書館にしてほしい。	● 職員の雇用形態等も考慮しながら、将来にわたって持続可能な図書館運営を継続できるよう検討を進めてまいります。

No.	意見の概要	札幌市の考え方
(3)民間活力の導入を含む図書館の効果的・効率的な管理運営手法や施設配置を検討		
21	<p>○ 民間活力の導入を含む図書館の効果的・効率的な管理運営手法は、合理性のみが重視されたり、多様性が損なわれたりするなど、様々な弊害が生じるため反対。</p>	<p>● 図書館がプランの基本理念である「市民の生涯にわたる学びや創造的な活動を支える場」として機能の強化を図り、将来にわたって持続可能な運営ができるように環境整備を進めることが必要と認識しています。そのための管理運営手法としてどのような手法が適切か、課題や効果にも十分配慮しながら検討を行ってまいります。</p>

6 キッズコメントに寄せられた主なご意見と札幌市の考え方

小学生・中学生の皆さまの主なご意見と札幌市の考え方は以下のとおりです。今後の札幌市民の読書活動や図書館運営に関する施策を検討し、実施する際の参考といたします。

No.	意見の概要	札幌市の考え方
基本方針1 市民の読書環境の充実と情報活用の支援		
(1) 市民の誰もが文字・活字文化に親しむ基盤の整備や読書を楽しむ機会の充実を図る		
1	○ 誰でも利用しやすい図書館のための案はとても良い。	● いただいたご意見をもとにみんなが利用しやすい図書館づくりを進めていきます。
2	○ 普段本を読まない人たちに楽しみながら興味をもってもらえるイベントを開くと、より多くの人に利用してもらえるのではないかと。	● 図書館では、これまで市民の関心の高いテーマに関する展示のほか、講演会や子ども向けイベントなどに取組んできました。図書館を利用したことのない方にも興味を持ってもらえるよう、情報発信に努めるとともに、体験型イベントなどの楽しめる行事も実施して、読書に触れる機会を提供していきます。
3	○ 図書館は装飾があったほうが子どもから大人まで楽しめる。	● 本の特集展示の際などに、テーマや季節感を取り入れた装飾を行い、利用者の方に見て楽しんでもらえるように工夫していきます。
4	○ 「新たな読書機会の創出」についての具体的な取組を、講習の開催や学校のプリント配布などで知らせるとよい。	● 具体的な取組については、ご意見を踏まえ、図書館のホームページやSNSなども活用しながら、広くお知らせできるよう工夫していきます。
5	○ 図書館がどこにあるか分からない人もいますので、宣伝ポスターを配布するなどした方がよい。	● 図書館を利用したことのない方にも図書館の場所やサービスを知ってもらえるよう、ホームページ、SNS等も活用しながら、皆さんに伝わる情報発信の方法を検討し、実施していきます。
6	○ 小さい子にも大人でも楽しめるような本、若い人たちには恋愛などの本を増やすことで利用してくれる人が多くなる。	● 幅広い世代の方に図書館を利用してもらえるよう、いただいたご意見は、購入する本を選ぶ際の参考にさせていただきます。
7	○ 受験の対策本などを増やすといい。	● 問題集については、書き込みがされやすいことや、年数が経つと内容が古くなり受験に対応できなくなることなどの理由により所蔵しておりませんが、大学の学部やお仕事についてなど進路を選ぶヒントになる本や、ご自身のスキルアップ（技術向

No.	意見の概要	札幌市の考え方
		上)に役立つ資格試験のテキストは所蔵していますのでぜひご活用ください。
8	○ 読書や図書館に触れる機会を増やし、読書の楽しさや魅力、重要性などに関心を持ってもらうことを最優先すべき。	● 図書館では、これまで市民の関心の高いテーマに関する展示のほか、講演会や子ども向けイベントなどに取組んできました。 図書館を利用したことのない方にも関心を持ってもらえるように、今後も一層、情報発信に努めるとともに、体験型イベントを実施するなど市民に役立つ図書館として、読書に触れる機会を提供していきます。
9	○ 読書に対する苦手意識を減らしていくことが必要。	● 令和2年7月に図書館が行ったアンケートでは、本を好きになった理由として「家に本があった」が最も多く挙げられており、身近に本があることが大切なことと認識しております。図書館としても多くの方にとって本と出会える場をつくり、読書になじみのなかった方にも読書のきっかけをつくっていきます。
10	○ 取組を推進して成果を上げられるよう応援している。	● 市民の皆さんが読書にもっと親しめるようプランに基づく取組を推進していきます。
11	○ 高齢者や障がい者のための環境づくり、学校などで本を取り入れて本に触れる機会を増やすこと、市民の意見を取り入れる努力をする姿勢などが良い。	● 高齢者や障がいのある方、学生など、幅広くご意見をいただき、皆さんが気持ちよく図書館を使っていけるよう努めていきます。
12	○ 若い人は、本を見るのがスマホで解決出来るし、コロナで本を買って読むという習慣が薄れているのではないのか。	● 電子図書サービスの推進等も含め、市民が読書に触れる機会を増やしていきます。
13	○ 興味も持たないと、読む環境を作っても、読む気にならないので、親しみやすい本の推薦や、読書に取り組みやすい配架を工夫してほしい。	● 時事的な話題や季節の行事、社会の動きなどを考慮しながら、幅広い分野にわたるテーマを設定し、関連する図書の展示や情報提供、ブックリストの配布を行うことにより、本棚の本を眺めるだけでは得られない新たな本との出会いの場を提供していきます。
14	○ スマホで本を読む人が多くなる中、図書館へ行く人は少ないのではないのか。その点をプランで言及していないことや、そういった人に対する対応が記載されていないことが気になる。	● このプランでは「変化に対応した読書環境・図書館」を重要な視点の一つとしており、スマートフォンやデジタルメディアなどの情報環境の変化も、対応が必要な変化と認識しています。 今後は、電子図書館サービスを推進する

No.	意見の概要	札幌市の考え方
		一方で、紙の本の良さや図書館イベントについて SNS 等で発信を行うことにより、多様な読書機会の提供と新たな図書館利用のきっかけづくりに努めていきます。
15	○ ゆっくり本を読んだり、いろいろ本がいっぱいあるところが良い。	● 図書館では、名作、古典など過去から現在に渡る幅広いコレクションを所蔵しています。これからも図書館のご利用をお願いします。
16	○ 新刊がすぐ読めるようになると良い。	● 図書館が新刊を購入した後、市民の皆さんにご利用いただけるようにするまでには、本の装備やシステム登録などの時間を要しますが、効率化を図るなど皆さんのご期待に応えられるよう努めていきます。
17	○ インターネットによる予約や検索システムがあることを知ってもらえるようにインターネットでも図書館とつながれることを知ってもらうキャンペーンをしたらどうか。	● 多くの方にインターネットを利用したサービスを知っていただくことは大切なことだと認識しております。具体的な手法は今後検討していきます。
18	○ どんな本が入荷したかなど SNS で発信すれば、興味を持ってくれる人が増えるのではないかと。	● 札幌市図書・情報館では、Instagram と Facebook、えほん図書館では Twitter で情報を配信しております。中央図書館でも、令和4年(2022年)4月20日からInstagramの配信を開始いたしました。図書館内の展示や本の情報を写真とともに配信していきますので、ぜひご覧ください。
(2) 来館が難しい方や障がいのある方の読書環境の充実を図る		
19	○ 障がいがある方への気遣いが良い。より具体的なことが知りたい。	● 現在、札幌市の図書館では、障がいのある方へ、郵送・宅配により本を貸し出すサービスを行っています。今後も引き続き、障がい等のため図書施設の利用に困難を抱える方の支援策について検討を進めていきます。
20	○ 障がいがある方のための取組をしているのはすごく良い。	● 今後もさらに、障がい等により図書施設の利用に困難を抱える方の利用を応援する方法について検討を進めていきます。
21	○ 車いすの人や発達障がいなどで周りに気をつかってしまう人でも、もっと気軽に図書館を使えれば良い。	● 障がいのある方が気持ちよく図書館を使っていけるよう努めていきます。
(4) 読書を支える多様な活動を支援する		
22	○ 読書活動の推進に取組む人たちと連携して進めるは良い取組だ。	● いただいたご意見も踏まえ、読書活動の推進に取り組む方々と連携して、このプランを進めていきます。

No.	意見の概要	札幌市の考え方
基本方針2 子どもの読書環境の充実と読書活動の支援		
(1) あらゆる機会・場所で子どもが読書に親しむ環境をつくる		
23	○ 本の読み聞かせなどをやったら小さな子どもの利用が多くなると思う。	● これまでも、ボランティア団体とも協力して読み聞かせを実施してきました。 今後も感染症の状況を見ながら、読み聞かせを実施していきます。
24	○ あらゆる機会・場所で子どもが読書に親しむ環境を作るという取組が良い。	● 図書館のほかにも、子どもにとって身近な児童会館における読み聞かせや、学校図書館の読書環境の充実などを行っていきます。
25	○ 中学校の図書館と市の図書館が連携し市の図書館から遠い所に住んでいる人も市の図書館を利用できるようになると良いと思う。	● 現在、学校図書館と市の図書館では、使用する電算システムの違いや配送の問題から、ご意見のような関係は難しい状況です。 なお、区民センターや地区センター図書室など市内43施設では、市の図書館の本を予約して取り寄せることができますので、ぜひご利用ください。 いただいたご意見については、今後の取組を検討するうえでの参考とさせていただきます。
(2)市民が子どもの読書推進の意識を共有する		
26	○ 小さい子にポイントカードなどを作って、借りるたびにスタンプを押し、たまったらお菓子などを配るのはどうか。	● 同様の取組として、読んだ本を100冊記録できる「読書ノート」を配布しています。記録した冊数に応じて「司書みらい」などの称号入り缶バッジや記念品をプレゼントしています。(めざせ！こども館長) また、えほん図書館でも同様の取組をしており、読んだ絵本の冊数に応じて記念品をプレゼントしています。(めざせ！えほんマイスター) 今後も、読書のきっかけになるような取組を行っていきます。
27	○ 読書ノートの提出場所を増やしてほしい。	● 読書ノートをご利用いただきありがとうございます。 「めざせ！こども館長」の取組は中央図書館のみで行っておりますが、今後、提出場所の拡大を進めていきます。
28	○ 中学校では1人1台パソコンを使って授業をしているので、電子図書館をPRし、利用を促すチャンスだと思う。	● GIGA スクール構想により、昨年度から小中学生に1人1台端末が整備されましたので、電子図書館の利用を促進する取組を検討いたします。

No.	意見の概要	札幌市の考え方
(3)発達段階ごとに効果的な読書支援に取り組む		
29	○ 子どもに興味を持ってもらうための活動が、年齢ごとに計画されているのが良い。	● 様々な年齢層の子どもにより読書に興味を持ってもらえるように、このプランに基づき取り組んでいきます。
30	○ 小説等(学園もの、特に恋愛系)が人気なので、そのような本を増やすと本を読まない若い人でも読むようになると思う。	● ご意見を参考にさせていただきながら、普段本を読まない若い人にも読書に親んでもらえるような取組を工夫しながら進めていきます。
基本方針3 全ての市民の学びと情報の拠点としての環境整備		
(1)全ての市民の課題解決を支援する		
31	○ 市民の学びと情報拠点としての環境整備について、市民が声をかけやすい優しい環境にすると良い。	● 接遇や業務知識の向上に努めるとともに、市民が声をかけやすく、親しみやすい対応ができるよう職員の育成に努めていきます。
32	○ 電子機器で調べものが出来る部屋があると良い。	● 中央図書館では、無線(Wi-Fi)を使ってご自分の電子機器でインターネットに接続できる席が12席あり、その他にインターネット上の情報を見るためにパソコンが置いてある席が6席あります。 今後、このような場所を増やしていくことを検討していきます。
(2)身近な地域の学びの場としての機能を強化する		
33	○ 生涯学習の場づくりや学習支援の取組が良い。	● 計画に基づき、生涯学習の拠点としての図書館の役割を検討し、図書館の機能の向上に努めていきます。
基本方針4 持続可能な図書館サービスを見据えた図書館運営		
(1)将来にわたって持続可能な図書館とするための取組を進める		
34	○ 「計画的に図書館の施設や設備を直します」とは具体的にどの施設や設備を直すのか。	● 札幌市には中央図書館のほかに、9つの地区図書館があります。どの図書館も、平成9年(1997年)よりも前にできており、日々使っていることで発生する建物(床や壁、天井など)や電気、水道などの設備の故障をその都度、直しています。今後も、市民の皆さんに安心して利用していただける図書館を目指し、計画的に直していきます。

市政等資料番号

01-S03-22-1067

「さっぽろ読書・図書館プラン(案)」
に対するご意見の概要と札幌市の考え方について

令和4年(2022年)5月

札幌市教育委員会中央図書館運営企画課
〒064-8516 札幌市中央区南22条西13丁目1-1
TEL: 011-512-7330 FAX: 011-512-7110
ホームページ: <http://www.city.sapporo.jp/toshokan/>